

協定企業名	株式会社損害保険ジャパン
交流行事名	協働の森「損保ジャパン・日本興亜 いきいき共生の森」交流活動
開催日時	平成25年11月10日
開催場所	馬路村役場就業改善センター、馬路村森林組合
主な参加者・人数	株式会社損害保険ジャパン及び日本興亜損保関連企業の社員及び家族など 約80名
概要	手ノコ丸太切り競争、チェーンソー体験、かなば編み体験
当日の様子	<p>11月7日に高知県知事室で、来年9月の合併を前に、日本興亜損保と損保ジャパンは、協働の森パートナーズ協定を新たに馬路村と高知県と結びました。結果的に平成19年から馬路村との協定が続くことになりました。その新たな協定による最初の行事が今回の交流活動です。まず、開会式において、平成24年度分の協働の森のお礼の見える化として「CO2吸収証書」をお渡ししました。</p>  <p>あいにくの雨のため、ユズ園での収穫体験と間伐体験が中止となり、馬路村森林組合でゲーム形式の丸太切り及びチェーンソーの体験となりました。</p> <p>4人一組のチームに分かれ、のこぎりを使って、多くの輪切りを作れるのかを競争しました。一人の持ち時間は2分でしたが、ボクシングの試合のように2分が長く感じられました。慣れた様子でどんどん丸太の切れる人や、悪戦苦闘する人もいましたが、皆で声を掛け合いお互い励ましながら、チーム競技を楽しみました。</p> <p>次のゲームでは、希望者がチェーンソーを使って木を切り、1.5キロになるよう目指しました。太く切りすぎて重量を大幅にオーバーしてしまったチームがあるなど、大いに盛り上がりました。</p> 

お子さん連れのグループは主にかなば編み体験教室に参加しました。「かなば」は、馬路村の杉の間伐材を利用して作られた薄くて弾力のあるクラフト材料です。このかなばを編むことで、身近でかわいいネイチャークラフトが簡単に出来ます。木目の違いを編みこみながら、コースターや装飾用に球形ものを作るなど、それぞれが工夫して楽しんでいました。

